



ソング・シンド
宋神道さん
 寄り添って15年
 在日の「慰安婦」裁判を支えて

講師 **梁澄子さん** ヤン・チンジャ

(在日の慰安婦裁判を支える会、下関判決を生かす会・世話人)

宋神道(ソング・シンド)さん
 「裁判負けても、オレは負けてない」と、今も宮城県から「二度と戦争をしてはならない」というメッセージを送り続けている。

	2006年11月19日(日) 午後2時から4時半
場所	西南学院大学(2号館 2階 203号) 地下鉄西新駅から徒歩5分 参加費無料(会場カンパあり)

できるだけ多くの学生に聞いてもらえるように、入場料を無料にしています。是非、この企画を成功させるためにご支援下さいますようお願いいたします。

賛同金 一口 1,000円 学生 一口 500円

郵便振替【口座番号】01760-8-40636

【口座名】 全国同時証言集会

宋神道さんは中国で7年間も「慰安婦」生活を強いられ、解放後、日本兵に騙され日本に連れてこられました。在日として生きてきた宋さんは支援者に会った十数年前、包丁を枕の下に入れて寝ていたそうです。激しい人間不信のため怒りでいっぱいだった彼女は、裁判を起こし、支援者と支えあい交流するなかで変わっていきます。その宋さんとの交流の過程での苦労や喜び、宋さんの近況などを、豊かな洞察力と表現力をお持ちの梁澄子さんからお聴きします。

皆さんのご参加をお待ちしています。

【主催】 全国同時企画2006 福岡実行委員会
戦後責任研究会・福岡部会

【後援】 西南学院大学宗教部、「慰安婦」問題と取り組む九州キリスト者の会
早よつくろう! 「慰安婦」問題解決法・ネットふくおか、矯風会九州部会・福岡支部
戦後責任を問う・関釜裁判を支援する会、女性エンパワーメントセンター福岡

【連絡先】 田村 mtamura@seinan-gu.ac.jp

ヤン チンジャ
(講師紹介) 梁 澄子さん

1957年生まれ。通訳・翻訳業、「在日の慰安婦裁判を支える会」「下関判決を生かす会」世話人。
一橋大学講師。宮城県に在住している宋神道(ソン・シンド)さんの裁判支援を行ってきた。
1998年、関釜裁判の下関判決を勝ち取ったのを契機に、日本軍性暴力被害者の各国の裁判—韓国・中国・台湾、
フィリピンなどの被害者たちの裁判の支援団体のネットワーク・「下関判決を生かす会」をつくり、世話人
として活躍。
著書「海を渡った朝鮮人海女—房総のチャムスを訪ねて」(1988年新宿書房)(金栄、梁澄子共著)等
(第8回(1988年度)山川菊栄賞受賞)

全国同時企画 2006

宋神道さんに寄り添って 15年

賛同カンパのお願い

2004年に学生や若者たちが中心となり、企画された全国同時企画も今回で3回目を迎えます。
私たちは、今年も全国各地(福岡、広島、大阪、京都、名古屋、東京、神奈川などを予定)で
同日(11月19日)に開くことで、日本軍「慰安婦」問題についてアピールしたいと考えています。
福岡では、梁澄子さんをお招きして、在日「慰安婦」被害女性である宋神道さんとの交流の中での
苦労や喜び、また宋さんの近況などをお聴きしたいと考えています。
できるだけ多くの方にご来場いただけるよう、入場料を無料にしています。
是非、この企画を成功させるためにご支援下さいますよう、心からお願い申し上げます。

賛同金 一口 1,000円

学生 一口 500円

賛同金は、実行委員に直接手渡されるか、福岡実行委員会の下記口座にお振り込み下さい。
郵便振替【口座番号】 01760 8 40636 【口座名】 全国同時証言集会

直接手渡していただける方は、下記の申込書を実行委員にお渡し下さい。

----- < 切り取り線 > -----

賛同金 _____ 口 _____ 円 (_____ 月 _____ 日)

お名前(団体名) _____

ご住所(〒 _____) _____

Tel _____ Fax _____ E-mail _____